

# 読書量向上における取り組み

文化理解ゼミ 文学班

## 1. はじめに

私たち文学ゼミは文章の面白さと楽しさを伝えることを目的として結成された。しかし、活動の中で「読書量の減少」という問題と直面したことから、面白さと楽しさを伝えようとする活動によって読書量の向上を目指すこととした。

## 2. 活動

### (1) 読書量の調査

読書量が減少しているという現状を確認するために文化庁が行っている「国語に関する世論調査」での回答を参考に分析した。

図1は「一か月に読む本の冊数」という問いの回答をグラフ化したものである。前回、前々回と比較して読む冊数に大きな変化が見られず、読書量が減少しているとは言いにくい。

図2は「読書量の変化」という問いの回答をグラフ化したものである。「読書量は減っていると」という回答の割合が前回と比較して2.2%増加していることから、読書量が減少していると感じている人が多いことが伺える。

図3は「読書量を増やしたいと思うか」という問いの回答をグラフ化したものである。「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が前回と比較して5.9%減少していることから、読書への意欲が低下しているのではと考えることができる。

図4は私たちが標茶高校生を対象として行ったアンケートでの回答をグラフ化したものである。「普段から小説を読むか」という問いに対し、123人が「いいえ」と回答した。

このことから半数以上が普段は読書（小説）をしないことが分かった。

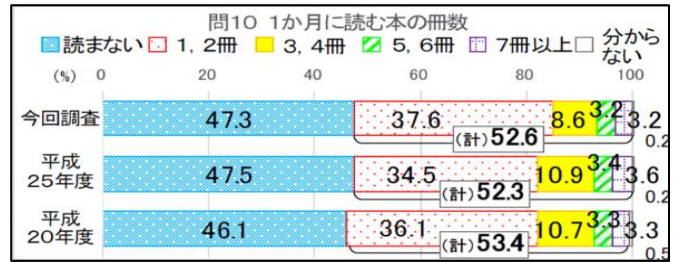


図1 「1か月に読む本の冊数」という問いへの回答

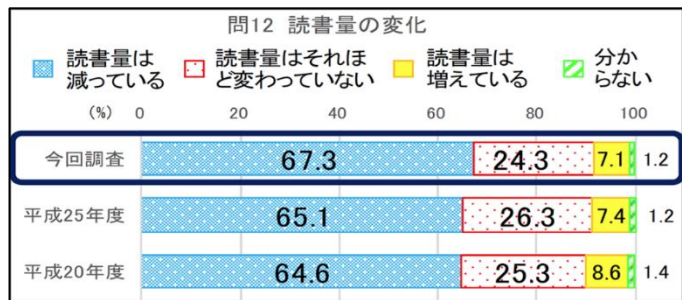


図2 「読書量の変化」という問いへの回答

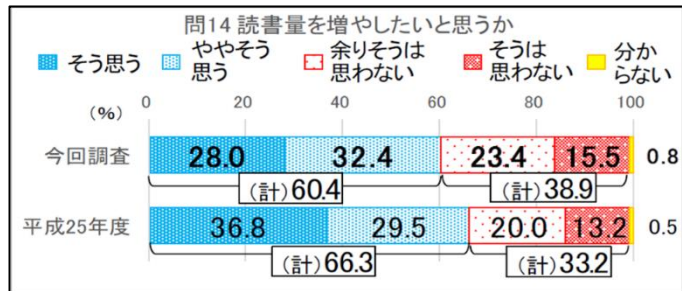


図3 「読書量を増やしたいと思うか」という問いへの回答

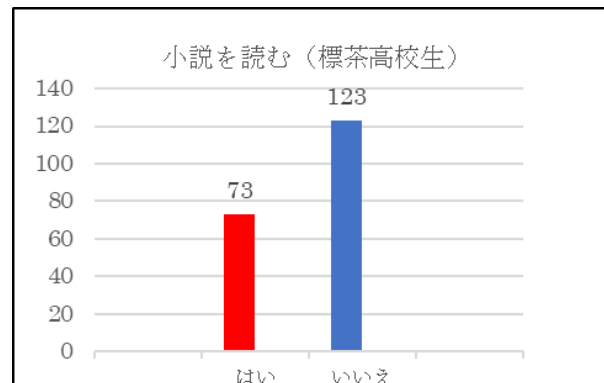


図4 標茶高校生へのアンケート結果

## (2) 小説の執筆

読書量の向上を図りつつ、文章の楽しさを伝える手段として小説の執筆を行うこととした。執筆にあたり、読まれやすく親しまれやすいものにするために実際にどういった本が人気であるかを標茶町図書館と釧路中央図書館の貸し出し記録をもとに調査した。図5は標茶町図書館の貸し出し数を本の種別ごとにグラフ化したものである。児童書と文学が圧倒的に多く借りられていることがわかる。さらに、司書の方から文学では特にミステリーが多く借りられていると教えていただいた。図6は釧路中央図書館の貸し出し数を年齢層別にグラフ化したものである。30歳を境として貸し出し数が増加し、60～70歳以上の貸し出し数が圧倒的に多いことがわかる。一方で13～18歳の中高生の貸し出し数は非常に少ない。これらの結果から、私たちは中高生を対象としたミステリーを執筆することとした。

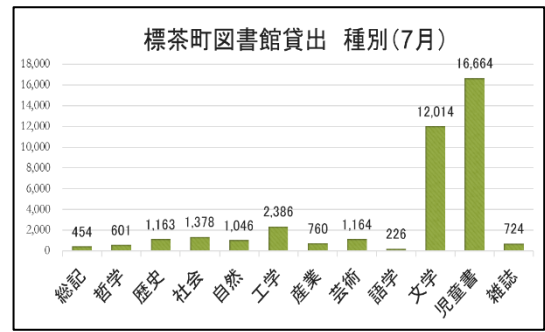


図5 標茶町図書館貸出数 7月(種別)

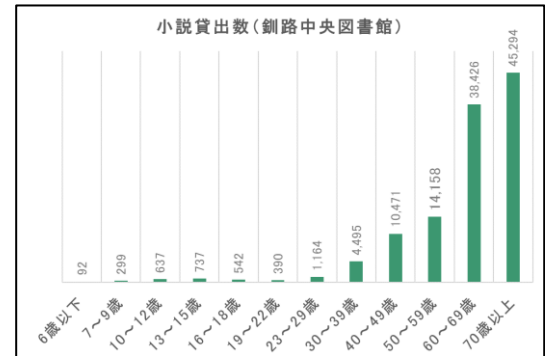


図6 釧路中央図書館小説貸出数(年齢層別)

## (3) 活動結果

読書量の調査では、数字では微々たるものであっても年々減少しつつあることを確認した。また「一か月に読む本の冊数」では、減少している以前に半数近くが「読まない」と回答しており、読書をしていない人に本を取ってもらうことも一つの課題であると感じた。小説の執筆では、執筆活動自体は行うことができたが、感想を受け取る体制を整えることができなかったため、この小説によって読書量向上が見込めるかどうかを判断する結果を得ることはできなかった。

## 3. まとめ

今期は読書量の実態調査と小説の執筆の二点を中心に活動し、読書量の減少は難しい問題だと再確認することができた。また読書量を向上させるための手段の発案やそれを実行する労力など、読書量減少への対策は一朝一夕で成せるものではなく、長い期間を必要とすると強く思わされた。

そのため、今後私たちのように読書量減少に注意を向ける人が増えなければ改善は望めないと考える。その点から見て、後続に引き継いでもらうことも課題の一つである。

## 4. おわりに

活動規模は小さなものとなったが読書量の減少という大きな問題に取り組むことができた。私たちの活動が根本的な解決の手段となるかは分からないが、関心を持ち行動を起こすことができたのは良かったと考える。後続を作ることができなかったことが心残りではあるが、文章の楽しさを伝えることが読書量向上に繋がると願っている。最後になりますが、当ゼミの活動にご協力いただいた皆様へ感謝の意を示させていただきます。ご協力、ありがとうございました。

## 5. 参考文献

- ・標茶町図書館の貸し出し記録(7月)、釧路中央図書館の貸し出し記録(年齢層別)
- ・平成30年度「国語に関する世論調査」の結果について(PDF)

[https://www.bunka.go.jp/koho\\_hodo\\_oshirase/hodohappyo/1422163.html](https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/1422163.html)